◪教育

現在學齡兒童數ハ九百六十四人ニシテ就學歩合ハ男九十九人八五女九十九人五八ノ成績ヲ示セリ

◪納稅務

諸稅收納成績向上ノ目的ヲ以テ組織シタル納稅組合ハ逐年增加シ今ヤ全町ニ亘リ九十組合其人員七百十八名ニ達シ然モ益々良好ノ成績ヲ擧ゲツヽアリ。偶々組合員外者ニシテ納期ヲ失ル者アリ常ニ理事者ハ之ガ督勵ヲ怠ラザルモ納期內ニ町稅ヲ納メズ令狀ヲ發シテ督促シタルモノ十名ニシテ內納付シタモノ九名尙納メザル者六名外ニ居所不明ニシテ督促シ能ハザルモノ二名ヲ合シ欠損見込合計額金壹四十九圓六十五錢ニ及ビシハ誠ニ遺憾トスル所ナリ

◪貯金

勤儉規約ニ依ル貯金總數ハ五千三百五十五圓四十四錢其人員百三十八人町是貯金二千四百五十七圓九十錢其人員百八十四ナリ

（大正十二年十二月末日現在）

◪衞生

種痘ハ四月十日十一日兩日執行シ第一期善感百五十人ニシテ不善感ナシ第二期善感八十八人不感善四十八人清潔法ハ春季ハ四月十六日ヨリ二十二日迄七日間秋季ハ十月十日ヨリ十六日迄七日間之ヲ執行ス　以上

◪會議

◪二月二十一日、二十三日、二十四日、二十七日、

第一號

一大正十三度本町歲入出豫算議定ノ件

別紙ノ通リ　（略之）

▲原案可決

第二號

一本郡小學校第三組合會ヘ補助金下附ノ件

小學校ノ教授及訓練其他教育ニ關スル事項ノ協議研究ヲ計ランガ爲メ大正十三年度經費ヨリ小學校第三組合會ヘ金二百一圓六十五錢ヲ補助セントスルニ在リ

▲原案可決

第三號

一本町青年會ヘ補助金下附ノ件

青年男子ノ修養ト教育ノ增進ヲ計ランガ爲メ大正十三年度經費ヨリ本町青年會ヘ金六十圓ヲ補助セントスル在リ

▲原案可決

第四號

一本町處女會ヘ補助金下附ノ件

青年處女ノ修養ト教育ノ增進ヲ計ランガ爲メ大正十三年度經費ヨリ本町處女會ヘ金三十圓ヲ補助セントスルニ在リ

▲原案可決

第五號

一本町農會ヘ補助金下附ノ件

部內產業ノ發達ヲ計リ町民ノ利益ヲ增進開發ヲ期センガ爲メ大正十三年度經費ヨリ本町農會ヘ金五百圓補助セントスルニ在リ

▲原案可決

第六號

一本町煙草耕作組合ヘ補助金下附ノ件

煙草作品質ノ向上改良發達ヲ計ランガ爲メ本町煙草耕作組合ヘ大正十三度經費ヨリ金十圓ヲ補助セントスルニ在リ

▲原案可決

第七號

一本町在鄕軍人分會ヘ補助金下附ノ件

軍人精神ノ向上ト事業ノ發達ヲ期センガ爲メ大正十三年度經費ヨリ本町軍人分會ヘ金六十圓ヲ補助セントスルニ在リ

▲原案可決

第八號

一町稅附加稅課率議定ノ件

大正十三年度ニ於テ賦課徵收スベキ附加稅課率左ノ通リ定ム

▲原案可決

記

一地租附加稅	宅地	金一圓ニ付　二十八錢
	其他地租	仝　六十六錢
二營業稅附加稅	本稅	仝　六十一錢
三所得稅附加稅	仝	仝　十四錢
四戶數割附加稅	仝	仝　四圓六十錢
五縣稅營業稅附加稅	仝	仝　七十錢
六縣稅雜種稅附加稅	仝	仝　七十錢
七鑛業稅附加稅	仝	仝　三錢

以上

第九號

一大正十三年度本町罹災救助金豫算議定ノ件

別紙ノ通　（略之）

▲原案可決

第十號

一大正十三年度本町大字入粟野久保出口宮內三字罹災救助金豫算議定ノ件

別紙ノ通　（略之）

▲原案可決

第十一號

一追加縣稅戶數割賦課ニ關スル所得額決定ノ件

別紙ノ通　（略之）

▲原案可決

第十二號

一追加縣稅戶數割賦課ニ關スル件

別紙ノ通　（略之）

▲原案可決

第十三號

536　粟野地区　粟野町収集文書　ア2

一大正十二年度本町罹災救助金豫算更正ノ件
別紙ノ通　（略之）
▲原案可決
第十四號
一大正十二年度ニ於テ追加賦課徴收スヘキ附加税課率更正ノ件
大正十三年一月二十二日議決ニ係ル追加賦課徴收スヘキ戸數割附加税本税金一圓ニ付十二錢トアルヲ本税金一圓ニ付十六錢ト更正ス
▲原案可決
第十五號
一町有基地縮少ニ關スル件
本町大字入粟野字熊ノ原九百三十九番町有墓地七畝一歩ヲ一畝二十八歩ニ縮少シ殘地ヲ畑ニ變換セントスルニ在リ
▲原案可決
第十六第
一江川改修ニ關スル意見書提出ノ件

◎税務

◎納税成績

◎本年一月ヨリ二月ニ至ル納税成績左ノ如シ

別紙ノ通　（略之）
▲原案可決
第十七號
一圖書館設置ノ件
民衆ノ智德ヲ涵養シ人格ヲ向上セシムルト共ニ學校教育ト相俟テ青少年ノ教養ノ達成ヲ期センガ爲メ之ヲ設置セントスルニ在リ　（宿題）
第十八號
一瓦斯噴霧筒購入ノ件
世ノ文化ガ進ムニ從テ人家密集ノ度ヲ加ヘ火災ノ頻發スルハ統計ノ示ス事實タリ本町一於テモ稍々ナル瓦斯噴霧筒ヲ購入シテ各自ノ生命財産ヲ保護スルノ途トシテ消防機關ノ完成ヲ期セントスルニ在リ　（宿題）
大正十三年二月二十一日提出
粟野町長代理助役　安發清作

税別	税目	期別調定額	完納期納税人員
國税	宅租地二期	四元・九	四三・三　四五人
	所得税三期	一・八三・五五	一・〇五
	田租一期	六九・一六	六六・八三　三五
	田租二期	六九・一六	一八六・四二　三五
計		三・六四一・六六	三・六九九・九三　一・二〇五

◎縣税及町税ノ所得税附加税第三期分左ノ如シ

税別	税目	調定額	法定納期	納税入員
縣税	所得税附加税	二〇・一〇	二〇・一〇	二〇二人
町税	所得税附加税	二四二・九	二四二・九	二〇九人

◎來月ノ納税

來ル三月廿七日限リ納付スベキ税金ハ田租第三期、第三種所得税第四期、縣税並ニ町税戸數割ニ付豫メ留意セラレタシ

◎彙報

◎二月十八日午前十時粟野第一尋常高等小學校ニ於テ大正十二年中ニ於ケル納税組合成績表彰式並ニ優良納税組合長表彰式ヲ擧行シタリ

◎表彰狀　（各通）

元粟野町第二區第二納税組合長　宇賀神利作
粟野町第四區第二納税組合長　伊澤勝三郎
粟野町第五區第二納税組合長　砂川勝吉
粟野町第八區第二納税組合長　關本義保
右ハ大正六年十月御大典記念トシテ組織シタル納税組合會設立以來組合長トシ書痒セラレ而モ其成績益々良好ナルハ組合長ノ指導宜シキヲ得タルモノニシテ洵ニ他ノ模範トスルニ足ル茲ニ納税奬勵規程第七條ニ依リ茶盞一組ヲ贈呈シ之ヲ表彰ス
大正十三年二月十八日
粟野町長代理助役　安發清作

◎組合ノ表彰狀ハ略之

536　粟野地区　粟野町収集文書　ア2

粟野町納税組合成績一覽表

自大正十二年一月
至大正十三年十二月

（組合長氏名ハ十月末日現在ニ依ル）

一等ノ部

區分順	組合長氏名	人數	區分順	組合長氏名	人數	區分順	組合長氏名	人數	區分順	組合長氏名	人數
一	古澤伊勢次郎	一五	四	谷津嘉一郎	一一	七	鈴木武吉	八	一一	岩井源吉	七
一	中枝武	九	四	伊澤勝三郎	一一	八	關本義保	六	一二	青木林次郎	六
一	廣田竹三郎	七	四	福田七右衛門	九	八	落合亦吉	一〇	一四	岩出殘三郎	七
二	戸坂半次郎	七	四	西澤長吉	八	八	大川勝平	七	一六	安生豐次郎	七
二	宇賀神利作	一一	四	片澤治平	一〇	八	池澤熊造	一二	二二	安生多造	四
三	淺野光一郎	一三	四	七樽見喜兵衛	一一	九	安達松藏	九	三	高島保一郎	八
三	川島文太	七	五	小平藤四郎	九	一〇	福田佐一郎	一〇	三	山崎源太郎	一一
三	金子茂一郎	一〇	五	砂川勝吉	九	一一	小島熊吉	五	三	板子莊平	九
四	松本正作	九	六	澤村榮太郎	一一	二	小島豐治	五	三	松尾兼三郎	五
五	松本才吉	一〇	六	增山繁作	九	三	早乙女五郎	六	三	羽山久七	四

二等ノ部

區分順	組合長氏名	人數	區分順	組合長氏名	人數	區分順	組合長氏名	人數
二二	神山豐太郎	七	一四	岩出竹三郎	一〇	一七	齋藤織四郎	一一
二四	小島伴四郎	四	一五	鈴木德三郎	七	二	大橋松三郎	一一
二五	市川久吉	五	一五	福田與四郎	八	一七	大橋市三郎	九
二五	男山武平	五	一五	福田平三郎	八	一七	小島末吉	一三
三	湯澤恒五郎	一六	二	牧島治三郎	一三	一八	畠山富士吉	一五
三	河野清五郎	四	一六	秋山姜四郎	五	一九	齋藤榮太郎	六
五	齊藤勝次	六	一六	牧島廣吉	五	一九	齋藤半吉	七
三	川津章次	五	一六	金子定一郎	九	一九	齋藤初吉	三
四	松本淺次	一一	一六	牧島宗吉	九			
一三	開口喜八郎	三	五	小林昇造	六			
四	落合幸作	九	五	內田幸次郎	二	六	小曾戸兼吉	一一
六	李子半七郎	一〇	九	青柳幸助	六	一三	星金次郎	五
八	原準三郎	一四	九	大出音三郎	六	一五	湯澤壽一郎	一〇
九	大出藤作	九	一〇	坂本傳四郎	八	一六	大貫市大郎	六
九	大貫文吉	七	一〇	福田岳一郎	九	一六	高橋武次	九
九	大貫誠吉	四	一〇	神山一司	八			

536　粟野地区　粟野町収集文書　ア2

一六一甲	金子善作	六二二	四岡本恭三	七

一等	二等	等外	合計
組合數	人員數	組合數	人員數	組合數	人員數	組合數	人員數
六八	五五三	一九	一五一	二	一三	八九	七一七

◎前項掲載ノ町會記事中第十六號議案河川改修ニ關スル意見出書ヲ町會ノ決議ヲ經テ三月五日附ヲ以テ本縣提出セリ全文左ノ如シ

◎河川改修ニ關スル意見書

上都賀郡粟野町大字中粟野地内字長川除粟野川右岸ハ年々出水ノ爲メ破壞セラレテ現時ハ陸狀ヲ爲シ殊ニ大正元年及三年ノ出水ハ右岸ニ在ル治水防備竹林ヲ突破シ縣道草久粟野線字小金澤橋右岸ニ直通シ同橋ヲ流失シ附近ノ耕地ヲ磧トナシタル慘狀ヲ現出シタル事アリ爾來地元ニ於テ年々極力防禦工事ヲ施行シタモ地勢ハ最モ危險ノ可能性ヲ帶ビ來リ一朝出水ニ遭ハバ忽チ氾濫シ多大ノ損害ヲ被ベキヲ認メ茲ニ町村制第四十三條ニ依リ町會ノ決議ヲ經テ本意見書ヲ提出シ速ニ河川改修工事ノ施行ヲランコトヲ望ム

大正十三年三月五日

上都賀郡粟野町々長代助役　安發清作

栃木縣知事　山脇春樹殿

◎諸會

◎一月七日町長詮衡委員會ヲ開ク

◎一月十一日　仝上

◎一月十九日學務委員會ヲ役場樓上ニ開ク

◎一月廿三日町長詮衡委員會ヲ開ク（午前）

◎仝日區長會ヲ開ク（午後）

◎二月六日ヨリ十日迄人粟野尾鑿ニ農事講習會ヲ開ク

◎二月十二日ヨリ十三日迄粟野第一學校講堂ニ衞生展覽會ヲ開ク觀覽者千二百名ナリ

◎二月十四日第三組合會主催講演會ヲ中粟野第二學校ニ開ク講師ハ文學士高田義光師及曹洞宗大學出身山内元英師ナリ次號ニ詳細ヲ掲

◎農事講習生（イロハ順）

大橋市三郎　小島捨三郎
小島開三郎　大橋基一郎　神山克雄　齋藤禮之助
大島甚三郎　大橋要松　横瀨能武雄　齋藤福松、竹
大橋武雄　大牧德一郎　高橋孝三　齋藤　以上十七名
小島周次　安生德一

◎二月十七日大十二年度小作米品評會賞狀授與式ヲ第一學校講堂ニ擧行シ知事代理岡本穀物檢査員入江郡長代理神字滿勸業課長木村縣產業主事補郡司檢査員粟野農會長福田富士福田仝副會長安發町長代理助役淺野幹事等列席ノ上優良小作者ニ對シ奬勵金及賞品ヲ授與シ終テ山下鹿沼農商學校教諭ノ農事講話有出品者及受賞者末項ノ如シ

◎二月廿二日ヨリ三日間蔬菜料理講習會ヲ農會主催ニテ中粟野第一學校内ニ開ク

◎講習生氏名（イロハ順）

池澤ヨシノ　神山タケ　古澤ミノ
磯田ツル　武田延子　小林タミ　日比野キク
伊藤フジ　早乙女ルイ　小曾戸ハル　關本シマ
落合ヨシ　谷津トヨ　小堀シゲ　鈴木ミヤ
小嶋ナヲ　松本ヨシ　小曾戸ナツ　鈴木リウ
大澤フジ　福田アキ　坂本イナチ　以上二十二名

◎粟野町農會主催第一回小作米品評會出品者及受賞者表

出品總点數　二千十九点
出品地主　二十六名
小作人　百九十五名

○仝表成績表

等級	氏名	賞品
特等	金井才次	斗樹斗カキ共
一等甲	中村吾三郎	二十貫秤
仝乙	新堀嘉市郎	上等フリマンガ
二等甲	小曾戸宏一郎	手鍬柄共
仝	鯉沼金次	仝
仝	宇賀神利作	仝
仝	廣田九一郎	仝
二等乙	松本源吾	備中鍬
仝	廣田作次	仝

536　粟野地区　粟野町収集文書　ア2

等級	氏名	賞品
二等乙	廣田波次郎	備中鐵
三等乙	大澤熊吉	全
全	大塚幸次郎	全
全	新堀清助	全
全	廣田時	全
三等甲	金子彌一	シャブロ
全	廣田保一郎	全
全	渡邊貞一郎	全
全	關口慎作	全
全	北村甚市	全
三等乙	菅野谷貞吉	万能
三等乙	木村源吉	全
全	宇賀神久造	全
全	關口長四郎	全
全	大澤重平	全
全	廣田喜市	全
全	小太刀喜十郎	全
全	吉澤善四郎	全
全	義牛新平	全
全	渡邊小重	全
全	大貫惣七	全
全		
全	白井寅吉	全
全	渡邊牧太	全
四等	岩淵宇八郎	賞狀
全	松本定吉	賞狀
全	居場善作	全
全	倉嶋治三郎	全
全	大貫松吉	全
全	小松本竹次郎	全
全	川田慶三郎	全
全	戸坂金造	全
全	廣田清作	全

以上

審査ノ結果成績左ノ如シ

一等米	五十一点
二等米	五百七点
三等米	九百四十三点
四等米	三百六十六点
五等米	一百五十二点

大正十三年二月廿五日印刷
大正十三年二月廿九日發行
栃木縣上都賀郡粟野町役場内
編輯兼發行人　安發清作
栃木縣上都賀郡鹿沼町仲町一五九六番地
常陸屋印刷部
印刷人　鈴木照藏
栃木縣上都賀郡粟野町
發行所　粟野町役場

粟野町報

第廿一號　大正十三年三月卅一日【月曜日】

◇會議

◇三月廿二日

第一號

一、町長詮衡ニ關スル詮衡委員會輕過報告ノ件

◇詮衡委員長ヨリ詮衡ノ輕過ヲ報告シ町會ノ意見トシテ本問題ヲ始メヨリ留保スル事ニ決ス

◆學事

◎曩ニ補助申請ノ本町立粟野實業補習學校教育費トシテ金五百八十四圓ヲ大正十三年三月十三日付學第二四號ヲ以テ補助許可アリタリ

◎三月廿七日三校及ビ補習學校塲ノ卒業並ニ修業證書授與式ヲ擧行シ町長代理安發助役ハ當日開催ノ消防町營ニ關スル協議會ニ臨席ノタメ第一學校ヘ淺野收入役第二學校ヘ廣瀨書記尋常小學校ヘ谷中書記臨席シタリ證書授與式ハ豫定ノ時間午前十時ニ開會シ卒業生其他ニ對シ授與型ノ如ク終テ首席訓導學事報告各校長ノ懇切叮嚀ノ極メタル訓辭有リ廣瀨書記ハ安發町長代理ノ欠席止ムベカラザル所以テ陳頃シ「勸學篇」ノ大意ヲ敍行シ祝辭ヲ述ベ其他來賓ノ祝辭卒業生徒ノ答辭有リテ閉會セリ答辭別記ノ如シ

●大正十二年度卒業生

◎粟野第一尋常高等小學校

◇尋常科卒業

鈴木新左衛門	湯田佐市
黑川米吉	鰕原忠太郎
半田幸作	神山雅夫
小林友	關本重太郎
書木弘	廣田元二
羽山喜四郎	金子泰治
小平國雄	神山桂司
櫃淵春吉	大出勝正
福田七雄	竹澤恒一
松尾元保	齋藤照茂
關本仙吉	金子寶
日向野三郎	小平錄郎
羽山利一郎	鈴木政一

536　粟野地区　粟野町収集文書　ア2

廣瀬富作　齋藤新一郎　坂本恒一郎　羽山源一　大島武雄　高島太吉　山戸政治　坂徳一郎　佐藤壽三郎　新堀信一　金子誠一　神山茂　大貫政治　吉澤孝一郎　小杉利夫　谷津榮一　川久保芳三郎　岩井政雄　關口繁治　飯田秋四郎　内田孝武　渡貫透　大貫武雄　川島文吉　大貫フキミ　青木孝平　荒川親次　松本勝一　神山民壽　吉澤タケ　福田松一郎　齋藤恒次　戸坂多市　福田コトヨ　原田定義　神山ナトク　藤巻一郎　小堀豊次郎　臼井ナヱヲ　鈴木富士　福田キチウ　牛久マツエ　宇賀神キミ　内田清二郎　廣田テヨル　川津マツ　大出タネ　古來イツ子　大貫チカ　城守俊道　出實　坂田チヨ　大山タツ　黒川喜四郎　多田貝カツ　鈴木コヨ　横山ヤイル　尾崎テヨ　谷澤吉ネ　駒場タマ　大串ヨ　福田キト　高島喜美　岡本クキ　早坂ソノ　阿部セウメ　阿部ウセ　谷中キミ　竹澤喜市

計　七十三名

◎高等科卒業

◎粟野第二尋常高等小學校

◎尋常科卒業

福田正雄　安生芳元　齋藤周作　齋藤留一郎　鈴木弘　大貫末吉　福田清　齋藤ヤナ　福田覺　齋藤ヨシ　松木ヤス　秋山　金子才四郎　岩出福次

計　廿七名

一田アキ　吉田ブノ　福田フシ　齋藤セヨ　高橋シル　河野ツモ　湯澤ヨシ　大串イト　星サヨ　松本ヨク　吉田フト　高橋シル　湯澤ヨシ　大串ヨ　大川ハナ　市ネ　大塚ツ

計　三十八名

◎授賞者數及種別

粟野第一尋常高等小學校

學年	進級兒童數	優等賞	佳良賞	精勤賞	備考
尋一	六男	一男	一男	三男	
尋二	六女	一女	一女	一女	
尋三	七男	一男	一男	二男	
尋四	八男	一男	一男	一女	
尋五	七女	一女	一女	一女	
尋六	七男	一男	一男	一女	
小計	四二男	一四男	一六男	一七男	
高一	三三女	一三女	一七女	一九女	
高二	四九男	一五男	一六男	二男	
高二	三女	一女	一女	一女	

◎尋常小學校ハ末著ニ付次號ニ掲載ス

齋藤春一郎　福田ラク　岩出治久　岩出シヅ　金子博　大串アキ　人橋善一郎　小島トキ　大橋清次　中尾長次

計　十名

◎高等科卒業

◎尋常科卒業

536　粟野地区　粟野町収集文書

ア2

學年	在籍兒童數	進級及卒業	不進級・備考
尋一	男一八 女一八	男一八 女一八	
尋二	男九七 女九七	男九七 女九七	
尋三	男二〇五 女二〇五	男二〇五 女二〇五	欠席ノタメ
尋四	男五一 女五一	男五一 女五一	
尋五	男三五 女三五	男三五 女三五	
尋六	男七一 女七一	男七一 女七一	
高一	男七五 女七五	男七五 女七五	
高卒	男四六 女四六	男四六 女四六	
高三	男二七 女二七	男六六 女五五	男一 女一 男一三
小計	男一〇三 女一〇三	男六六 女一〇	男一 女一 男三 女一 男一四
合計	男五六六 女五六六	男三三 女三三	男六六 女二 男一 女一 男一六〇 女九

◎無欠席者

尋常、高等（三）九ヶ年間　吉澤幸一郎
全　大貫政治
計二名

備考　精勤賞ヲ授與セルハ一ヶ年間一日モ欠席セザル者ナリ

粟野實業補習學校

在籍六一　男二三 女三八
進級五五　男一八 女三七
優等一三　男三 女一〇
陣勤一　男一 女一
實習勤勉賞五　男一 女四

粟野第二尋常高等小學校

合計	男二八 女二四	二八 二四	一 一

◎授賞者數種別

學年	進級兒童數	優等賞	佳良賞	精勤賞	備考
尋一	二九	四	六	二二	精勤尋一、〇八欠席三日迄授賞
尋二	三六	六	四	一九	全　尋二、八欠席三日迄授賞
尋三	四四	五	八	一六	全　尋三、八欠席二日迄授賞
尋四	二四	四	五	一〇	全　尋四、八欠席二日迄授賞
尋五	二八	四	二	九	全　無欠席
尋六	二八	六	三	八	全　六ヶ年間精勤一、
高一	二二	五	四	八	全
高卒	一〇	五	一	六	全　二ヶ間精勤三、八ヶ間精勤一、
合計	二二二	三九	三三	八八	

◎進級並授賞者前年度トノ比較

	前年度	本年度
進級	二二五	二二二
授賞優等賞	四八	三九
佳良賞	六七	三三
精勤賞		八八

◎無欠席者

◇尋常科六ヶ間　金子才四郎
◇高等科一ヶ年間　大橋清司
◇全　上　金子博
◇尋常、高等八ヶ年間　岩出シヅ
計四名

536　粟野地区　粟野町収集文書　ア2

答辭

本日は私共の爲に此の如き盛大なる卒業式を御擧行下され校長先生及び來賓諸賢の御懇篤なる御教訓を賜りまして私等の光榮この上もない次第でございます。

顧みれば私共が此學校に入學致しまして諸先生の教を受くる樣に成りましてから永きものは凡々年間短き者も二ヶ年間の星霜を校長先生を初め諸先生の深い厚い御教育によりまして今日あることを得たのでございます此御恩は筆や言葉では盡し難い程廣く大きいものであります。私達卒業生の中には或は中學校に入學致しまして更に學問の勉强を續ける者或は直ちに實社會に棹さし出で實業に就く者など其進む道はそれ〳〵異つて居りますが共に永い間の諸先生の御教訓を肝に銘じ互に仲よく助け合つて相當の成功をおさめ御高恩の萬分の一に報ゆる覺悟は皆同じでございます。どうぞ私達が卒業の後ど雖もこれ迄と同樣に御指導下さる樣切にお願いいたします。

高等科第三學年卒業生一同に代つて二言以て答辭と致します。

大正十三年三月廿七日

總代　大出實

答辭

本日は私等の爲に盛大なる證書授與式をお擧げ下さいまして來賓各位の御臨場を辱ふし且つ種々有益なる御言葉を頂戴いたしまして誠に光榮に存じます顧みれば私等の入學しましたのは昨年の七月廿四日でございました在學期間は決して長いとは申されませんしかし最近國家が要求して止まない補習教育の趣旨に鑑み町當局に於ては一方ならざる御苦心をなさいました新たに學則を改正なさるやら器具器械減書の設備をなさるやら實驗實習の方法を講ぜられますやらでも一通りでは御在いませんでした。ここに校長先生始め諸先生の懇篤なる御教授をいたゞきまして私等は始めて甦生の喜びにひたるこが出來ました將來國家を双肩に擔つて立たねばならぬ私達は小學校の教科を終た許りでなく進んで補習教育を受けねばなりませんそして國家有用の材となつて他日善良なる公民健全なる國民たらんことを期さねばならりません例へ私等は本日卒業證書を頂戴いたしましても更に一部の者は二部に二部の者は研究科に或は選科に入つてその足らない處を補ひ末長く諸先生方の御指導を受けねばなりませんそして私達は新學則第二回の卒業生であるから責任は一層重大なこと・存じます故に私達は將來一層御教訓を守つて實業の振興を圖り御鴻恩の萬分の一に酬え奉らんと思ひます卒業生一同を代表して謹んで答辭をのべます。

大正十三年三月廿七日

粟野實業補習學校

二部二年卒業生　中野辰雄

答辭

長い八年の間もいつしか夢の樣にすぎまして、愈々唯今此の場所で諸先生とお別れせなければならない事になりましたこの八年といふ月日は私共に取りましては非常に貴重な時であつたのでありますあの小さい一年生の時から唯今まで皆の先生から受けた御恩は筆にも言葉にもつくしがたいのでありますそのなつかしい先生方と今お別れしなければならないかと思へば名殘り惜い氣がして胸が一ついになります先生方におせんあの運動場でも忘れなければなりません長年この校舍で學び多年あの運動場で愉快に遊んだ事を思へば何にも心の無い庭の櫻の木まで名殘を惜んで居る樣に思はれます。ふりかいへつて見ますと汎共がこの學校に入學しました頃は西も東も分らぬほんのがんぜない者でありましたそれがこんな一に大きくなつて最早や小學校を卒業する樣になりましたのは一に先生の御教のたまものであるこ深く感謝して居ます私共は今日限り此の校を卒業しましてそれ〳〵の目的に向つて進みますが皆其今までの御教を心にしめてこれから他各々自分の仕事に全力を注いで從事し他日の成功を期したいこ考へてゐます。かうして先生から受けた大恩の万分の一なりともおかへししたいこ心から祈つて居ます。お別れに望みまして二同の者に代り校長先生初め諸先生に厚く〳〵御禮申上げます。

大正十三年三月廿七日

粟野第二尋常高等小學校卒業生

男子總代　中尾長次

答辭

際行く駒の足早みいつしか年も過ぎ行きて早や五つ年の學び の庭の教草茲に摘み終り今日のよき日に業了へししるしの文を賜はられあまつさへ有難き言葉のかづ〳〵蔵きて、こよなきよろこびこよなき光榮になん。思ひは我等の幼き折母人につれられて學びの庭に入りし頃は西も東も辨へず善きも惡しきも知らざるまゝに思ふがまゝを振舞て師の君達を煩はせしなりさるを露も厭はず春雨の草木はぐくむそれにも增し懸ゆるが如き愛をもて、いさゝかんごろに手を取り導き恕り、たゆみなき御教に物の理り人の道年を經る儘に身につけて世の人なみの人となりて今日の縁に逢ふを得しは三重に師の君達の海より深く山より高き御恩ごなを更に小さき胸は感謝にあふるゝのみあゝ此御恩如何にして酬え奉らん貝これよりは師の君より授りしみ教を心に留めて朝夕勉め守り智識をみがき極め篠の宗を齊ひ業に勵み世の爲國の爲めにつくし以て御恩の万分の一に酬えんこす。今や慈しみ深き師の君達に別れ年久しくも任み馴れし學びの窓を後にして波風あらき世の海に棹さし彼の岸をあての漕ぎ行くか弱き我等助けの船のなからんには。いかで目あての彼の岸に着くを得べけんあゝ慈しみ深き師の君よ別れし後も今迄ごと變らぬのみかいやまして教ひ導き給へてよ情にはもろき女子ごて今日の別れの惜まれて胸の涙はせきあへず。さらば師の君常しへにまさきくあれこ神かけ祈を捧げて今日のみ言葉に答ひ奉る。

粟野第二尋常高等小學校卒業生

女子總代　岩出シヅ

536　粟野地区　粟野町収集文書　ア2

就學前兒童身體檢査統計表

（粟野第一尋常高等小學校）

就學スベキ兒童數	男	三六人	計六四人
	女	三四人	
就學猶豫ノ必要アル者	男	〇〇	計〇
	女		
受驗兒童數	男	三六人	計六四人
	女	三四人	
就學免除ノ必要アル者	男	〇〇	計〇
	女		
全上就學兒童數ニ對スル百分比			九〇・九

種痘	男	三六人	計六四人
	女	三四人	
不善感	男	〇〇	計〇
	女		
既應疾病	麻疹	男	三七人
		女	三四人
		計	七一人
	腦膜炎	男	〇〇
		女	
		計	〇
	百日咳	男	七一人
		女	四七人
		計	一一八人
	其他	男	〇〇
		女	一人
		計	一人
既應健康	虚弱	男	一二人
		女	
		計	三人
	強健	男	一〇人
		女	三三人
		計	三三人
	普通	男	六六人
		女	三五人
		計	四二人

保育狀況	牛乳	男	〇〇
		女	二人
		計	二人
	母乳	男	三元人
		女	三四人
		計	六四人
	牛乳	男	〇〇
		女	〇〇
		計	〇
	母乳	男	一人
		女	一人
		計	二人
	其他	男	一人
		女	一人
		計	二人
發育並營養	甲	男	元六人
		女	六六人
		計	三三人
	乙	男	六六人
		女	六六人
		計	三四人
	丙	男	〇〇
		女	〇〇
		計	〇
	丁	男	〇〇
		女	〇〇
		計	〇
	戊	男	〇〇
		女	〇〇
		計	〇

視力	普通	男	三六人
		女	三四人
		計	六四人
	弱	男	〇〇
		女	〇〇
		計	〇
	盲	男	〇〇
		女	〇〇
		計	〇
眼疾	トラホーム	男	一一人
		女	一人
		計	二人
	其他	男	〇〇
		女	〇〇
		計	〇
聽力	普通	男	三六人
		女	三四人
		計	六四人
	鈍	男	一人
		女	〇
		計	一人
	龍耳	男	〇〇
		女	〇〇
		計	〇
	其他	男	〇〇
		女	〇〇
		計	〇
耳疾	中耳炎	男	〇〇
		女	〇〇
		計	〇
	其他	男	〇〇
		女	〇
		計	一人
齒	虫歯アルモノ	男	五八人
		女	三六人
		計	一七人
	乳歯	男	
		女	
		計	
	其他	男	〇〇
		女	〇〇
		計	〇

言語　普通　男　三六人　計六四人
　　女　三四人
　　調設　男　〇　計〇
　　營養良　男　〇　計〇
　　女　〇
　　不良　男　〇　計〇
　　女　〇
　　計〇
其他貧血　男　〇〇　計〇
　　女　〇〇
　　計〇
　　眼病　男　〇　計〇
　　女　〇
　　計〇
疾病　男　〇〇　計〇
　　女　〇〇
　　計〇
　　ヘルニヤ　男　〇　計〇
　　女　〇
　　計〇
異常ナシ
其他ナシ

檢査ノ結板取リタル處置概要　虎眼疑者ニ對シテハ直チニ治療スベキ樣命ズ

◎尋常校分未着ニ付次號掲載

就學前兒童身体檢査統計表

（粟野第二尋常高等小學校）

就學スベキ兒童數	男	八四人	計三八人
	女	八八人	
受驗兒童數	男	八四人	計三八人
	女	八八人	
就學猶豫ノ必要アル者	男	〇〇	計〇
	女		
就學免除ノ必要アル者	男	〇〇	計〇
	女		
同上新字兒童數ニ對スル百分比			一〇〇・〇〇

種痘	善感	男	八四人
		女	八四人
	不善感	男	〇〇
		女	〇〇
		計	〇
既往疾病	麻疹	男	六五人
		女	六五人
		計	一二人
	百日咳	男	一一人
		女	一一人
		計	二二人
	腸膜炎	男	〇〇
		女	〇〇
		計	〇
	其他	男	二一人
		女	一人
		胃腸病	三人
		計	三人
既往健康	虚弱	男	〇〇
		女	〇〇
		計	〇
	強健	男	一四人
		女	一四人
		計	二八人
	普通	男	〇〇
		女	三〇
		計	三〇人

保育狀況	牛乳	男	〇〇
		女	〇〇
		計	〇人
	母乳	男	一三人
		女	一四人
		計	二四人
	牛乳	男	〇〇
		女	〇〇
		計	〇人
	母乳ト牛乳	男	三
		女	五
		計	八人
	其他	男	〇〇
		女	〇〇
		計	〇人
發育並營養	甲	男	三六人
		女	三四人
		計	六六人
	乙	男	二人
		女	四人
		計	六人
	丙	男	〇〇
		女	〇〇
		計	〇人

536　粟野地区　粟野町収集文書　ア2

| | | |

ニシテ禪語ノ所謂婆婆卽寂光土ナリト華嚴經ノ意ヲ講述シ深キ感動ヲ與ヘタリ因ニ師ハ有名ナル三百則ノ著者指月和尚昔時法席ヲ薫サレシ栃本本光寺現住ニシテ二十二世ノ由指月師ハ禪門ノ巨匠ニシテ著書頗ル多ク皆「不能語」ノ三字題冠セリ此三字ノ在ルモノハ皆指月書ト直チニ斷定シ得ルハ面白シ

◎正誤表　町報第廿號分

頁	數	行數	誤	正	備考
一	三	差	左		
二	二	千〇二十三圓	三千〇三十三圓		
全	十五	七十圓	ナシ		金七十圓ヲ削除
三	十七	十二也	十二圓也		
全	二十	士	土		
六	廿二	賞	償		
七	七	郡	縣		
全	上欄一	十二度	十二年度		
全	全	六	課分等	課分掌等	
全	全	七	土		
全	下欄五	士	土		
全	全	七	土		
全	全十九	不感善	不善感		
全	全十九				
全	下九	ラ	ヲ		
全	全十六	スルアリ	スルニアリ		
十二	上十二	基地	墓地		
全	全十四	一畝	一畝		
全	下八	宿頭	宿題		
全	二	或績	成績		
十三	八	月定納	内納		
十三	下四	義保	美保		
全	全五	組合會	組合	會ヲ除ク	
全	全六	畫	盡瘁		
全	全七	二	一		
十四	五	義保	美保		
全	十六	殘三郎	啓三郎		
全	全	多造	彦造		
十六	五	縣提	縣二提		
全	八	中	中		
全	八	陸	灣		
三	上十三	十二度	十二年度		
全	全	士	土		
全	全十四	關スル件	關スル件		
全	全	士	土		
全	全十五	報告左ノ件	報告ノ件	左ヲ除ク	
全	全十六	士	土		
全	全廿二	十二度	十二年度		
全	全廿四	青會	青年會		
全	下十八	第一長	第一區長		
全	全十九	第七區代	第七區長代		
九	上八	置キル	置キタル		
全	全十一	從	縱		
全	下十二	預ケ入シ	預ケ入レ		
全	全十八	提	堤		
十	上四	納稅務	稅務	納ヲ除ク	
全	上五	遂	逐		
全	全八	失ル	失スル		
全	全十二	ビ	ビ		
十六	十	シタモ	シタルモ		
全	全	危儉	危險		
全	十一	被ベ	被ルベ		
全	十四	町々長代助役	町長代理助役		
全	下六	揭	揭ク		
十七	六	神字滿	神家滿		
全	八	有	有リ		
十八	上二十	義牛	義串		
全	全廿三	白井	臼井		

大正十三年三月廿八日印刷
大正十三年三月卅一日發行
栃木縣上都賀郡粟野町役場内
編輯兼發行人　安發清作
栃木縣上都賀郡鹿沼町仲町一五九六番地
常陸屋印刷部
印刷人　鈴木照藏
栃木縣上都賀郡粟野町
發行所　粟野役場

536　粟野地区　粟野町収集文書　ア2

粟野町報

第廿二號　大正十三年四月卅一日【水曜日】

◇學事

●大正十二年度卒業生（前號ノ續き）

◎粟野尋常小學校

◇尋常科卒業

小島トシ　畠山フミ

●授賞者數及種別

學年	進級兒童數	優等賞	佳良賞	精勤賞	備考
尋一	一〇男五四女二二			五全全	
尋二	一一男七四女四全全			八全全	
尋三	一五男七八女六全全			一二全全	
尋四	八男五三女四全全			五全全	
尋五	一九男一二女七全全			六全全	
尋六	一三男九四女五全全			一一全全	
計	七六男四三女三三〇全全			四七全全	

畠山每次　小島松吉
齋藤清吉　大橋武文
大橋理作　大森勝作
神山重雄　小島シヅエ
安生勝一郎　小島フエ
神山恒夫

計十三名

536　粟野地区　粟野町収集文書　ア2

前年度　七五　男四三　女三二　三一　全一三　全一九

四〇　全二三　全一七

大橋武文　畠山好次　神山恒夫　計五名

小島トシ　齋藤清吉

●尋常科卒業優等生氏名

●大正十三年度學級編制

粟野第一尋常高等小學校

一尋常科兒童數四百九十三人　内男二百三十二人　女二百六十二人

一高等科兒童數百十一人　内男七十一人　女四十一人

内譯

						學級備考
尋常科第一學年	男	二九	三九	女	二〇	一學級
全	男	二〇	三九	女	二九	全
第二學年	男	二七	四五	女	二八	全
全	男	二六	四三	女	二七	全
第三學年	男	二八	四三	女	二五	全
全	男	二五	四四	女	二九	全
第四學年	男	三六	男	三六	女	全
全	男	五〇	女	五〇	女	全
第五學年	男	四〇	男	四〇	女	全
全	男	四二	女	四二	女	全
第六學年	男	四〇	男	四〇	女	全
全	男	三三	女	三二	女	全
高等科第一學年	男	五六	女	二三六	男	一學級
全第二第三學年	男	五五	女	二三五	男	全

合計尋常科十二學級　高等科二學級

粟野第二尋常高等小學校

尋常科兒童數百九十三人　内男百〇二人　女九十一人

高等科兒童數五十一人　内男三十人　女一人

内譯

尋常科第一學年	男	三六	女	一九	七	一學級
全	男	二八	女	一〇	八	全
第二學年	男	三六	女	一九	七	全
全	男	四三	女	二五	八	全
第四學年	男	二六	女	二四	一	一學級
全	男	一四	女	一三	一	全
第五學年	男	三〇	女	二六	一	全
全	男	二一	女	一六	五	全
第六學年	男	二五	女	一五	五	一學級
全	男	二一	女	一六	五	全
高等科第一學年	男	二一	女	一六	五	一學級
全	男	二一	女	一六	五	全

合計尋常科五學級　高等科一學級

536　粟野地区　粟野町収集文書　ア2

尋常科兒童數七十六人　内男四十四人　内女三十二人

内譯

尋常科第一學年	一二	男	三	九	一學級	
仝　第二學年	一〇	女	五	四		
仝　第三學年	一一	男	七	七	一學級	
仝　第四學年	一六	女	九	七		
仝　第五學年	一八	男	三	五	一學級	
仝　第六學年	一九	女	二	三		
合計　尋常科　三學級						
總計　尋常科　十二學級						
高等科　三學級						

兒童數　九百一十五人

尋常科　七百六十三人（男三百七十八人　女三百八十五人）

高等科　一百六十二人（男百〇一人　女六十一人）

◎教員異動

◎三月廿一日付落合尋常高等小學西校訓導ニ轉任　田邊富作

◎同日付日光第一尋常高等小學校ニ轉任　山本清作

◎四月十四日依願退職　益子正常

◎三月廿一日依願退職　縫田三郎

◎三月廿一日付粟野第一尋常高等小學校訓導任命　松田ハナ

◎同日付粟野第二尋常高等小學校訓導任命　金子昇一

◎三月廿一日依願退職（九級俸四〇圓）　駒塚ウタ

◎仝月仝日付任命（月俸三五圓）　加藤太四郎

◎仝月仝日付仝上（仝五七圓）　矢島正一

◎仝月仝日付仝上（七級上六五圓）

◎三月廿一日付粟野第二尋常高等小學校訓導任命　廣瀨カク（月俸四〇圓）

◎同日付第一尋常高等小學校代用教員任命　手塚要次郎（月俸三二圓）

◎二月卅一日付仝上一年志願現役中　渡邊丈夫（月俸四七圓）

◎三月廿一日付粟野尋常小學校訓導ニ轉任　大橋マサオ（月俸四二圓）

◎四月十八日仝上代用教員任命（仝三〇圓）　福田八千代

◎三月廿日小來川尋常高等小學校代用教員ニ轉任　亀田高次郎

◎仝日付粟野尋常小學校代用教員任命（月俸三五圓）　山室剛郎

第一校長和賀井福治本年三月三十一日付三級下俸ニ（一一〇圓）入訓導野澤ヤス仝月仝日付九級上ニ（四五圓）仝訓導小杉秀雄仝月仝日付級上ニ（五五圓）訓導小室清仝月仝日付ハ級下ニ五〇圓仝藤訓導小磯榮次郎二級下ニ四五圓第二學校訓導石崎忠雄三月三十一日〇四七圓ニ仝代用教員松本勝太郎仝月仝日付三〇圓ニ何レモ昇級セリ元第一學校訓導菊地フデハ滿二ケ年以上勤續ニヨリ一時退職手當金八〇圓（俸給三ケ月分）仝訓導金子昇一ハ仝樣ノ理由ニヨリ八四圓ヲ今回其筋ヨリ給與セラタリ

庶務

◎本年五月十日執行シタル衆議院議員選擧ニ付本町投票所投票錄左ノ如シ

大正十三年五月十日投票執行　栃木縣上都賀郡粟野町衆議院議員投票所投票錄

一、リ投票所ハ粟野町役場ニ之ヲ設ケタリ

二、左ノ立會人ハ何レモ投票時刻マデニ投票所ニ參會シタ

粟野町大字口粟野二千六百六十一番地　關本美保

仝上　二百八十七番地　岡本豊吉

粟野町大字中粟野十二番地　湯澤玉一郎

仝町大字入粟野六十二番地　高橋仲三郎

三、投票所ハ大正十三年五月十日午前第七時ニ之ヲ開キタリ

四、投票管理者ハ投票立會人ト共ニ投票ニ先チ投票所ニ參集シタル選擧人ノ面前ニ於テ投票函ヲ開キ其空虛ナヲコトヲ示シタル後内蓋ヲ鎖シ投票管理者及投票立會人ノ面前ニ之ヲ置キタリ

五、投票管理者及投票立會人ノ面前ニ於テ選擧人ヲシテ逐次其住所氏名ノ自稱セシメ選擧人名簿ニ對照シタル後到着番號札ト引換ニ投票用紙交付シタリ

六、選擧人ハ自ラ投票ヲ認メ投票函ニ投入シタリ

七、午後第六時ニ至リ投票管理者ハ投票所ヲ閉ヅベキ時刻ニ至リタル由ヲ告ゲ投票所ノ入口ヲ鎖シタリ

八、午後第六時五分投票所ニ在ル選擧人ノ投票結了シタルヲ以テ投票管理者ハ投票立會人ト共ニ投票函ノ内蓋ノ投票口及外蓋ヲ鎖シタリ

九、投票函ヲ閉鎖シタルニ依リ其内蓋ノ輪ハ投票函ヲ送致ス

536　粟野地区　粟野町収集文書　ア2

ベキ左ノ投票立會人之ヲ保管シ外蓋ノ輪ハ投票管理者之ヲ保管ス

岡本豊吉
岡本豊吉

十、投票ニ投票錄及選擧人名簿ヲ選擧長ニ送致スベキ投票立會人左ノ如シ

岡本豊吉

十一、左ノ六名ハ投票所ノ事務ニ從業シタリ

書記　谷口行三
仝　谷中長一郎
仝　山知樹
仝　廣瀨長市郎
書記補　福田重勝
雇　小曾戸文一郎

十二、投票所ニ臨監シタル官吏左ノ如シ

上都賀郡長　入江操
上都賀郡書記　佐藤利三郎
栃木縣警部補　安藏佐平次
栃木縣巡査　矢板金重
栃木縣巡査　福田酉造

十三、選擧人名簿ニ記載セラレタル者ノ總數二百四十二人投票シタル選擧人ノ總數二百三十三人投票管理者ハ此ノ投票錄ヲ作リ之ヲ朗讀シタル上投票立會人ト共ニ茲ニ署名ス

大正十三年五月十日

投票管理者
粟野町長代理助役　安發清作

投票立會人
湯澤玉一郎
岡本豊吉
高橋仲三郎
關本美保
（各自署名ス）

●衆議院員議選擧權者數

國稅十圓以上　五人　三圓以十圓未滿　一人　計六人

●縣會議員欠員ニ付補欠選擧ヲ行フ旨五月十七日栃木縣告示

第二百三十九號ヲ以テ告示セラル

一、選擧ヲ行フベキ選擧區及選擧スベキ議員數

上都賀郡　一人

一、投票ヲ行ベキ日時

大正十三年六月二十五日　自午前八時　至午後六時

◎六月二十五日縣會議員補欠選擧ハ大正十二年九月十五日現在ニ依リ調製シタル名簿ニ依ルモノニシテ登錄セラレタル總人員四百二十六人ナリ選擧期日迄ニハ死亡等多少ノ異動アルベシ

⊠勸業統計

●民有林伐採（大正十二年度分）

一、杉	二万二千石	十五万四千圓
一、檜	五千石	三万五千圓
一、松	六百石	三千六百圓
一、薪炭材	六千七百棚	六万七千圓

●民有林人工造林

◎新植（大正十三年）

一、杉	十六万七千三百本　八十三町七反歩
一、檜	五万本　二十町歩

◎補植（大正十三年）

一、杉	二万五千本
一、檜	五千本

◎諸車（大正十三年三月三十一日現在）

一、客馬車	五輪
一、荷積馬車	七七輪
一、荷力車	一四三輪
一、人力車	八輪
一、自働自轉車	三輪
一、自轉車	五〇一輪

◎賞罰調

一、大正十二年末現在庫數	四一四
一、年內貸出日數	三四〇
一、年內受戻日數	一六一六四圓
一、年內流レ日數	一五二　七七四圓
一、年末現在日數	五　三四圓
	十五三　一二五三三圓

⊠報

粟野青年會入粟野上組支部ニ於テハ圖書巡回文庫並ニ公德箱ヲ創設シタルニ付四月二十四日之ガ發會式ヲ擧ゲ縣社會課ヨリ天野道隆先生ヲ招聘シ思想問題ニ關スル講演ヲ開催シ役場ヨリ安發町長代理出席シ淺倉校長詔書ヲ捧讀シタリ當日ノ祝辭及ビ講演ノ要領左ノ如シ粟野青年會入粟野支部ニ於テ御成婚記念事業ノ一トシテ文庫ヲ開設シ本日ヲ期シ發會式ヲ擧ゲラル其席末ニ列スルヲ得タルハ甚ダ欣幸トスル所ナリ現今ノ狀態ヲ觀察スルニ學校教育ハ進歩ノ跡著シキモノ有ト雖モ一般民衆ノ開發訓練ニ資スベキ社會教育ハ太ダ遲レタルヲ遺憾トス文康事業ノ如キハ此缺陷ヲ補フベキ施設ニシテ當支部ガ早ク之ニ着手シ漸ヲ追テ大ヲ爲サントスル意氣壯ンナリト謂ベシ近時思想大ニ動搖シ前途甚ダ思フベキモノナシトセズ此時ニ方リ社會活動ノ中核タルベキ青年諸氏ガ修養意ラズ智德ノ向上ヲ計リ頽廢セル精神思想ノ作興ニ努ヌントスルハ實ニ人意ヲ強フスルニ足ルミナラズ併セテ公德箱ヲ調製シ掲示版ヲ樹立シ遍時警要ノ事項ヲ報道スルハ社會教化上ノ稗益シ甚大ナルベキヲ信ズ希クバ青年諸子其使命ヲ自覺シ小ニシテハ町ノ爲メ大ニシテハ國家ノ爲メ倍々健闘ヲ持續セラレンコトヲ望ム並デ之ヲ祝辭トナス

大正十三年四月二十四日

粟野町長代理助役粟野青年會長　安發清作

◎縣社會課嘱托天野道隆氏ハ「精神作興ニ關スル講演」ト題シ大要左ノ意味ヲ述ベラル

往昔我ガ國ノ教育方針トシテ智育、德育、体育ノ三育ヲ施ベコトトナレルガ儒ヲ依育ハ倫理ノ何レニ基礎ヲ置クベキカニ就テ一寸亡羊ノ嘆有シニ畏クモ明治大帝教育勅語ヲ喩發セラレ茲ニ始メテ一道ノ光明ヲ津後ヲ得テ爾來ガ育界ノ進歩著シキ發達ヲ遂ゲタリ之ヲリ先キ魯國東方ニ意有リ明治三

536　粟野地区　粟野町収集文書　ア2

十究年ノ比**クロパトキン**來朝シ我ガ軍隊ヲ視察シ既リテ復養シテ曰ク日本ノ軍隊ニハ防塞ノ設備無シ之ヲ極寒ノ地ニ誘引シテ戰ハヾ一擧ニシテ之ヲ屠ル易々タランノミ兄ヨ辭書ヨリ不能ノ文字ヲ削リ我ヲ遮ル**アルプス**有ラント豪語セシ蓋世ノ英雄**ナポレオン**モ一敗地ニ塗レシニ非ヾヤト雖圖衛策胸ハ熱シ偖コヲ日露ノ間戰トナリ彼ガ數々豫定ノ退却ヲ試ミタルハ之レニ基因ス然レドモ豫定ノ場所迄退却シテ我ガ軍ヲ誘引スル能ハザリシヲ以テ彼ハ白族ヲ揚ゲテ降ヲ乞フニ至レリ當時我商工業家ハ戰爭ノ影響ヲ受ケタル所謂「成金」ナルモノ簇生シ此成金ナルモノガ社會ニ害毒ヲ流スコト甚ダシク中ニハ隨分悲慘ナル事件ヲ生メリ國民一般ガ成金氣分ヲ受ケテ經俳浮華ニ流レ剛健ノ氣ヲ失ヒ奢侈放縱ノ生活ヲ爲スコト滔々天下ヲ席捲シ其底止スル所ヲ知ラザルヲ以テ尤文尤武明治先帝陛下深ク軫襟ヲ悩マサレ再ビ戊申詔書ヲ喚發セラレ經俳浮華ヲ誡ノ玉ヲ近來ニ至リ外來思想ノ影響ヲ受ケテ動モスレバ三來邪國ノ去精心之和魂ニ多少暗キ陰ヲ見ルニ至レルハ一斯ノ如キハ眞ノ大和魂ニアラズ）悲ムベキ現狀ナリ昨年先天ハ之ニ警告ヲ與ヘテ震災ナル大鉄鎚ヲ下シテ國民各自ノ自覺ヲ促セリ茲ニ於テ三タビ今帝陛下國民精神作興ニ關スル詔書」ヲ降シ玉ヒ國民ノ反省ヲ示シ玉フ古ヨリ論言汗ノ如シト云ヘリ之ヲ二タビ三タビシ大詔ノ降下ヲ仰グニ至リテハ國民トシテ恐懼措ク所ヲ知ラズ吾人青年ハ宜ク詔勅ヲ色讀體得シテ奮發剛健勤儉努力シ國家民族ノ興隆安榮トヲ圖ラザルベカラズ之ヲ行フ所以ノモノ他ナシ「至誠心」ヲ以テ事ニ當ルノ外ナシ古ヨリ至誠天ニ通ズト云ヘリ人至誠ナラニハ神明感應ス其他ノ事何事カ成ラザラン心ヲ誠ニスルコトハ其心ヲ正スルニ在リ心正シケレバ身ガ修マリ修マレバ家ヲ齊フ家ガ齊ヘバ國ガ治ムリ所謂治國平天下ヲ得ルナリ曾子ノ曰ク古ヨリ親ル所手ノ指ス所其レ嚴ナルカ富ハ屋ヲ潤フシ德ハ身ヲ潤フス心廣ク體胖カナリ故ニ君子ハ必ズ其心ヲ誠ニスト諸子深ク心ニ之ヲ銘スベキナリト結ビ非常ニ喝采ヲセラレタリ聽者百五名ニ達シ深キ感動ヲ與ヘタリ（本文ハ說者ノ校閲ヲ經ルニ遑ナク間クルガ儘ニ筆シタレバ或ハ誤謬モ有ラン文責筆者ニ在リ）

☒正誤表（町報二十一號分）

（頁數）	（行數）	（誤）	（正）	備考
一	四	輕	經	
一	五	輕	經	
一	六	始メヨリ	暫ラク	
一下段	一	テ	ヲ	
全下段	二	敕		場ヲ除ク
六下段	九	ら		
七下段	三	析	敷	
七　全	六	ぐ		ら ヲ除ク
七　全	七	、	ば、	
十　全	一六	の		、ヲ除ク
十一上	一九	十		
全　上	一	上	土	十ヲ除ク
全　上	八		二	會ノ下二ヲ加フ

全　上　裁
十一下　末セヨ　未ヒ
全　六　裁
全　一三　ニ　裁合部ヨリ除ク
全　一四　田　歩ノ下二ヲ加フ
全　一六　斗　内
全　二〇　成　年
全　二二　ノ　以下同ジ
全　二三　ヲ　以下同ジ
全　二五　ニ　觀ノ下ルヲ加フ
全　四　尺　眼ノ下方ヲ加フ
全　字題冠　キ　シノ下ノヲ加フ
全　ヲ題　眼ノ下ヨリヲ加フ
以上

大正十三年五月二十五日印刷
大正十三年五月三十一日發行

栃木縣上都賀郡粟野町役場內
編輯兼發行人　安發清作

栃木縣上都賀郡匠沼町
印刷人　鈴木黑藏
常陸屋印刷部

栃木縣上都賀郡粟野町
發行所　粟野町役場

536　粟野地区　粟野町収集文書　ア2

粟野町報

第廿三號　大正十三年五月三十日【木曜日】

⊠税務

●自轉車鑑札附換ノ件

本町ニ於ケル改正自轉車鑑札ノ附換ハ七月六日午前八時ヨリ正午迄本町役場ニ於テ執行スルコトヽナレリ

●縣税營業者看板掲示方ノ件

一定ノ場所ニ於テ營業、業態若クハ經營ヲナシ縣税ノ賦課ヲ受クル者ハ左記標式ノ看板ニ其税目及等級ヲ記載シ役場ノ檢印ヲ受ケ之ヲ見易キ場所ニ掲示スベキ規定ナレバ該當者ハ夫々掲示セラレタシ

○　一尺五寸

●納税成績

四月中ニ於ケル納税ハ地租附加税ニテ其成績左ノ如シ

税別	調定額	人員	納入成績
縣税	三、[illegible]二〇	八五二	一〇〇
町税	一、四八六	八四〇	一〇〇

●來月ノ納税

來五月中ノ納税ハ國税營業税並ニ縣税營業税ト雜種税及町税各附加税ナリ

●納税唱歌

思へば深し君の恩
御代は榮えて民安し
七千余万の國民は
納税の義務を怠るな
國税、縣税市町村
税の種類はがずあれど
納むる心は一つなり
わが大君の仰せぞと
思へば安し人々よ
いかで納期を遲るべき

●衛生プロパカンダ

一傳染病流行ノ季節トナリマシタオ互ニ夏季ノ衛生事項ヲ守リ殊ニ病氣ニ罹ラヌ樣注意致シマセウ

536　粟野地区　粟野町収集文書　ア2

一、蠅ハ驅除スルコト
一、流レ水溜リ水ヲ使用セヌコト
一、寢具ハ時々日光ニサラスコト
一、不潔ノ塵所ハ掃除スルコト
一、病人ノアル家デ飲食セヌコト
一、飲食物ニハ覆蓋ヲスルコト
一、病氣ノ時ハ早ク醫師ニ診斷シテ貰フコト
一、夏季ノ葬禮ハ多數集合シテ飲食スルノ例ヲ避クルコト

◉勸業及統計

粟野町基本財產（三月三十一日現在）

一、田　時價　九反二畝十五歩　五千八十七圓七十錢
一、畑　時價　三反八畝八歩　一千三百三十九圓十七錢
一、宅地　時價　四十二坪七合　六十四圓五錢
一、山林　時價　四百九十二町一反七畝七歩　二十四万六千二百十九圓三十一錢
一、諸株券　時價　二千四百圓　六千九百圓
一、現金　三千九百十五圓十二錢八厘

粟野町小學校基本財產調（三月三十一日現在）

一、山林　時價　三十九町七反五畝十九歩　一万九千八百七十七圓七十一錢
一、現金　二千二百十五圓八十五錢五厘

粟野町罹災救助基金（三月三十一日現在）

一、現金　一千四百六十二圓八十八錢五厘

字久保出口宮内三字罹災救助基金（三月三十一日現在）

一、山林　時價　一町歩　五百圓

プロパカンタ

◉町ノ平和ハ住民ノ自治的修養ニアリ◉

◉人ノ世話ニハナラナイ樣ニ人ノ世話ナラスル樣ニ

國民ノ義務

◎納稅思想

◎納稅ハ明日ト言ハズ今日スグニ
◎納期勵行ハ自治ノ美德ナリ
◎納期日待ツナ後レルナ
◎いノ一番納メテ果セ稅ノ義務

◎明日ノ〳〵ト言フテ遲ル、納期日
◎稅ノ種數ハ多々アレド納ムル心ハミナ同ジ

◎持チツ持タレツ助ケテ立タニヤ人ト言フ字モ立チ兼ル

向上普及

◉心ユルメズ納期ニ堅ク皆樣揃フテ納稅ニ
◎一戶滯納ハ全町民ノ傷トナル

◉町ノ發展ハ住民ノ勤勞ト協調ニアリ◉
（粟野町役場）

◀民力涵養標語◀

◉國体
すめら御國の一筋道を、忠と孝との二字で踏む

◉自治
人のわ世話にならない樣に、人の世話ならする樣に

◉修養
油斷する間に時計がすゝむ、時計待たずに世はすゝむ

◉調協
持ちつ持たれつ助けて立たにや、人といふ字も立ち兼る

◉生活
勤勞の鍬に不毛の地なし、出來秋や七千万の力草

◉町の發展は住民の勤勞と協調にあり

◉町の平和は住民の自治的修養にあり

粟野町役場

536　粟野地区　粟野町収集文書　ア2

大正十三年六月二十五日印刷
大正十三年六月三十日發行

栃木縣上都賀郡粟野町役場内
編輯兼發行人　安發清作

栃木縣上都賀郡鹿沼町仲町
印刷所　常陸屋印刷部

栃木縣上都賀郡鹿沼町仲町
印刷人　鈴木照藏

栃木縣上都賀郡粟野町
發行所　粟野町役場

粟野町報

第廿四號　大正十三年六月三十日【月曜日】

町會

●六月二十一日

第一號

一、府縣稅戶數割規則施行細則中第七條ニ依ル控除金額決定ノ件

▲原案可決

一、府縣稅戶數割規則施行細則第七條ニ依ル控除金額左ノ通リ決定セントス

一、所得千圓以下ナルトキ

年齢十四歲未滿者ハ六十歲以上ノ者又ハ不具廢疾者　一人ニ付　三十圓

二、所得二千圓以下ナルトキ　一人ニ付　二十一圓

三、所得三千圓以下ナルトキ　一人ニ付　十五圓

同　同

第二號

一、縣稅戶數割賦課ニ關スル所得額決定ノ件

▲原案可決

一、左記ノ者ニ對スル府縣稅戶數割規則第三條ニ依ル所得額頭書ノ通リ決定セントス

記

所得額	金五拾圓也	下島イヱ
同	金四拾五圓也	秋山嘉一郎
同	金七拾圓也	遠藤吾市
同	金七拾圓也	閑部音吉
同	金八拾圓也	飯田喜三郎
同	金百圓也	遠藤藤七
同	金百圓也	大貫善三郎
同	金百參拾圓也	西方忠吉
同	金貳百五拾圓也	宇賀神市之進
同	金貳百五拾圓也	吉田廣吉郎
同	金參百圓也	葉山平一郎
同	金五百圓也	椿見幸郎
同	金四百圓也	落合瀧一郎
同	金千八百五拾圓也	落合善四郎
同	金千八百圓也	大貫平治

536　粟野地区　粟野町収集文書　ア2

同　金八千圓也　落合幸作
同　金參万圓也　福田七右衛門

第三號

一、縣稅戶數割賦課ニ關スル件

▲修正可決

一金四千九百七圓也
大正十三年度縣稅戶數割本町配當總額
右各納稅義務者ニ對シ左ノ通リ賦課セントス

大正十三年六月二十一日提出
粟町町長代理助役　安發清作

記

大正十三年度縣稅戶數割賦課表

一、所得額ニ依ル賦課金貳千八百七十五圓九十五錢
所得金一圓ニ付　八厘

二、住家間數ニ依ル賦課金九十一圓三十錢
住家一間ニ付　一厘

三、資產ノ狀況ニ依ル賦課金千九百三十九圓七十五錢
資產ノ狀況ヲ酌酌シテ二百二十九人ニ賦課ス
但シ一間ニ付　一錢

第四號

一、第四區長第十一區長第十六長及代理者辭任報告ノ件
第四區長樽見喜兵衛大正十三年五月十日依病氣辭任
第十一區長小島豐治同年六月十三日老齡ノ故ヲ以テ辭任
第十六區長齊藤房吉同年五月二十日老齡ノ故ヲ於テ辭任
仝代理者安生豐次辭任

▲報告承認

第五號

一、四區長第十一區長第十六區長及代理者選擧ノ件
第四區長片澤治平仝代理者書木重光當選
第十一區長岡本泰三仝代理者小島福松　仝
第十六區長安生三郎仝代理者秋山菊次郎仝

第六號

一、寄附受入ノ件

▲原案可決

粟野第一尋常高等小學校卒業生舟木三郎當町大字口粟野橫尾弘之ヨリ別紙ノ通リ礦物標本庭、植木寄附願出ニ付受入ヲ爲サントスルニ在リ
二、町是ニ因ル寄附左記ノ通リアリタルニ付受入ヲ爲スコト

記

金二圓婚姻　內田平次
金五圓出生　樽見喜兵衛
金一圓出生　伊澤勝三郎
金一圓出生　楡木武雄
金二圓死亡　大塚讓一郎
金一圓死亡　關本長次
金五錢死亡　松本堅司
金七錢死亡　磯田重吉
金一圓死亡　關本長次
計金十四圓二十錢也

大正十三年六月二十一日提出
粟野町長代理助役　安發清作

寄附願

一礦物標本（價額五十圓）　百二十四種
右粟野尋常高等小學校ヘ理科標本トシテ寄附致度候間御受入下サレ度此段及願候也

右元粟野第一高等小學校卒業生　舟木三郎
粟野町長代理助役　安發清作殿

一、植木寄附願　大六本
一、ビハ木　一株
一、エチヨウ木

一、カヤ木
右ノ植木寄附致度ニ付御採用相濟度此段御願申上候也
大正十三年三月二十一日
粟野町大字口粟野八百九十七番地
寄附出願者　橫尾弘之
粟野町長代理助役　安發清作殿

秘　兵事

當町壯丁ニ對スル徵兵身体檢査ハ六月八日本町第一尋常高等小學校內粟野徵兵署ニ於テ施行セラレタルガ其結果及前四ケ年ノ体格比較ヲ示サバ左ノ如シ

年次	檢査人員	甲種	第一乙種	第二乙種	丙種	丁種	戊種	甲種ニ對スル百分比
大正九年	五六人	二五人	六人	二人	二五	一人	一人	四三、一
大正十年	五八	二四	九	一人	九	一	一	二四、〇
大正十一年	四七	一四	五	一五	一一	一	一	二九、七
大正十二年	四五	一五	一二	一二	六	一	一	三三、三
大正十三年	五〇	二〇	七	一〇	一二	一	一	四〇、〇

◎六月八日本年度徵兵檢査肚丁學歷調査表中本町ニ關スル分左ノ如シ

年號	受檢人員	六學年及仝等	高等卒及仝等	中學卒及仝等	高小卒及仝等	尋常小卒	尋小中途退學	不就學	就學
大正十一年	四七	一	一	二	一七	二〇	七	一	一

536　粟野地区　粟野町収集文書　ア2

| | | |

施行月日	地名	驅除人員	蛾數	卵塊	幼虫
六月四日	追地小金澤	癸 三九	三三〇	三三	
	管沼大栗出口境澤				
	瀧ノ澤				
	水端				

害虫驅除成績報告書

月日	地名	人員	驅除反別	驅除數量	摘要
六月十五日	ウケ場	一七	二町五反	一、六〇〇匁	午前八時ヨリ午後四時マデ
仝	新宿	一四	五反	四〇〇匁	仝
仝	下町 仲町	二〇	一町一反	三、八〇〇匁	仝
六月十四日	上町	六	五反	二、五〇〇匁	仝
六月十五日	叶	一四	一町二反	二、五〇〇匁	仝
仝	桑澤	六	三反	一、〇〇〇匁	仝
仝	柏木	九	四反	二、〇〇〇匁	仝
六月十六日	横町	一二	一町五反	二、〇〇〇匁	仝
六月十五日	中妻	二二	二町五反	二四〇〇匁	仝
仝	岡ノ栗澤海ノ木原	一九	四反六畝	二、〇〇〇匁	仝
仝	日渡路	三〇	一町	三、〇〇〇匁	仝
六月十六日	板名	一六	五反	四、〇〇〇匁	仝

◎本年モ大藏作ニ地蠶蛾生シ共濃害恐ルベキモノ有ルヲ以テ之レガ驅除方法ニ關シ六月十三日各區長農區長ノ聯合協議會ヲ開催耕作人一般慫慂ニテ一齊共同驅除ヲ行ヒタルガ其成績左ノ如シ

仝	追地小金澤	三〇	三反	一、〇〇〇匁	仝
仝	菅沼	八	六反	八〇〇匁	仝
仝	大栗	一二	八反五畝	六〇〇匁	仝
六月十七日	入栗下級野	四四	七町五反	五〇〇匁	仝

◎稅務

戸數割ハ從來其ノ賦課額ヲ定ムルニ土ニ期ニ分チテ決議ヲ要シタルモ本年度ヨリ規則ノ一部改正シ往年六月三十日迄ニ一度決議ヲナスコトヽナレリ因ニ本年度本町配當總額ニ依ル賦課表ヲ示サバ左ノ如シ

大正十三年度戸數割賦課表

賦課納稅義務者總額	所得ニ依ルモノ	仕家坪數ニ依ルモノ	資産ニ依ルモノ	納稅義務者一人當賦課額
	總所得額	總坪數	同上賦課額	
	賦課額上	歩合	歩合	最高 最低 平均
四九、七〇〇	八四一、三九一	二、八五八、八五	五、八六二	九一、四一〇 九一、三〇
				一六一、九三七、五五 三、九五二 八六、四六 二六 六〇

備考		
納稅義務者	一戸ヲ構フルモノ（獨立ノ生計ヲ營ムモノ）	七九六人 八人
上半期賦課額	二千四百五十七圓二十一錢	
下半期賦課額	二千四百四十九圓七十九錢	

◎納稅成績

五月中ニ於ケル納稅ハ田租第四期ニシテ調定額金六百九十九圓十六錢納稅人員三百七十二人其ノ納稅成績ハ五月三十一日完納ニ付六月三日送納ヲ了シタリ

◎來月ノ納稅

來七月ノ納稅ハ別項掲載ノ戸數割上半期分及宅地租第一期ニシテ指定納期ハ共ニ七月二十七日ナリ

536　粟野地区　粟野町収集文書　ア2

大正十三年七月二十五日印刷
大正十三年七月三十一日發行

栃木縣上都賀郡粟野町役場内
編輯兼發行人　安發清作

栃木縣上都賀郡鹿沼町仲町
印刷所　常陸屋印刷部

栃木縣上都賀郡鹿沼町仲町
印刷人　鈴木照藏

栃木縣上都賀郡粟野町
發行所　粟野町役場

粟野町報

第廿五號　大正十三年七月三十一日【木曜日】

◎學事

◉本表ハ三校並ニ補習學校在籍生徒ニ對シ身体檢査ヲ行ヒ之ヲ集計シタルモノナリ日本全國ノ生徒兒童ノ發育平均ニ比シ身長体重男女共ニ優越ヲ示セリ

粟野町（尋常科）兒童身體檢査統計表

（男）　（大正十三年一月檢査）

年齢	七年	八年	九年	十年	十一年	十二年	十三年
身長 總長	二三、四九	二五、四三	二七、三〇	二八、八三	二八、八九	二九、四三	四一、六六
身長 平均	三、五三	三、六八	三、八四	四、〇五	四、一八	四、二九	四、一六
體重 總重	二九、五六	三六、九〇	三五、一〇	四四、二九	三四、七〇	五〇、七五	六、七〇〇
體重 平均	四、七九	五、一〇	五、七〇	六、三八	六、八五	七、五三	六、五〇〇
胸圍 總長	二〇、八三	二五、〇八	二五、六七	二九、二	二〇、九四	二四、六	二〇、〇二
胸圍 平均	一、七四	一、八〇	一、九二	一、九	二、〇二	二、二四	二、〇二
發育概評 甲	五	五	七	二	七	八	二
發育概評 乙	三四	四二	三七	四	三五	三六	二
發育概評 丙	二四	一八	二	一八	三	二五	二

536　粟野地区　粟野町収集文書　ア2

聽力障害アル者	疾病 其ノ他	眼 トラホーム	色神 檢査人員	色神 異常	視力及屈折狀態 正視 兩眼	視力及屈折狀態 正視 一眼	視力及屈折狀態 遠視 兩眼	視力及屈折狀態 遠視 一眼	視力及屈折狀態 近視 兩眼	視力及屈折狀態 近視 一眼	視力及屈折狀態 亂視其他及 兩眼	視力及屈折狀態 亂視其他及 一眼	脊柱 正	脊柱 曲	榮養 甲	榮養 乙	榮養 丙
一		三											空	二	二七	四	
		一											四	二	二五	九	
		三											五		二七	八	
		一	九	一									七		二七	三	
		一	九	二					二	一			吾		一九	三	
一		一	九	二					二	一	三		九		二三	七	
													一		一		

耳疾	齒牙蟲齒アル者	其ノ他病疾異常 扁桃線肥大	心ソウ弁膜閉塞不全症	右股關節炎	濕疹	白クモ	傾首	監察ヲ要スル者	檢査人員	備考	年齢	身長 總長	身長 平均
一	二五	二			一	一		二八	空	發育概評丙ニシテ扁桃線肥大ニ名濕疹一名アリ（第一）	七年	三三、二八	三、五
一	二六		二	一		一		三	四	發育概評丙ニシテ柱曲一名トラホーム一名耳疾一名アリ（第一）	八年	二空、五九	三、空二
	二六							三	五	發育概評丙ニシテトラホーム患者一名アリ（第一）	九年	三〇、六五	三、八七
	二三	一						三	七	色神紅綠色盲（尋常）	十年	二九、三〇	三、八六
	三						一	一四	五	色神紅綠色盲胸圍体重平均四年ニ劣ル（尋常）	十一年	三四、四六	四、五二
一	一五							二八	六	色神紅綠色盲耳疾中耳炎（尋常）	十二年	三〇七、三三	四、三三
								一		發育概評丙ニシテ耳疾患者一名アリ（第一）			

（尋常科）（女）（大正十三年五月檢査）

備考	検査人員	監察ヲ要スル者	温疹	他異常病ノ	共疾 エクセイマ	齒牙蟲齒アル者	耳疾	聽力障害アル者	眼疾 其ノ他	眼疾 トラホーム	神色 検査人員	神色 異常	態度 視及他 一眼	態度 視及他 兩眼
概評丙ニシテ耳疾ヲ患フルモノ（第一）	六二	二七	一			一九	一		一	四				
概評丙ニシテエクセーマ一名疾二（第一）体重平均一年ニ劣ル（尋常）	五四	二四			一	二五			二	三				
概評丙ニシテトラホーム二名概評丙ニシテ眼疾一（第一）	六	一四				四〇			一	五				
眼疾結膜炎 耳疾中耳炎（尋常）	五七	二五				二九	一		一		七			
	五七	一五				三〇				三	五七			
身長ノ平均五年ニ劣ル（尋常）	四八	一四				一四					四八			

（高等科）（男）（大正十三年四月檢査）

體重 総重	重平均	胸囲 総長	胸囲 平均	發育概評 甲	發育概評 乙	發育概評 丙	榮養 甲	榮養 乙	榮養 丙	脊柱 正	脊柱 彎	視力 正 兩眼	視力 正 一眼	視力 遠視 兩眼	視力 遠視 一眼	屈折及 近視 兩眼	屈折及 近視 一眼
二六五・五〇	四六・二	一〇四・六八	一・七三	七	三二	三	三五	二六		六							
二五・五〇	五四・七	九四・六四	一・七五	五	三七	三	三三	三二		五四							
四四五・九八	五・六四	一四六・七六	一・八八	一四	五三	二	三五	四二		六							
四九・九〇	六・二三	一四三・二三	一・九一	一〇	四一	二四	三四	四一		七五		五	一		一	一	
三九・一〇	六・六五	一二三・八一	一・九六	三	三二	三	二	三七		七五		五	一		一	一	
三六五・七〇	七・六一・九	九七・八七	二〇四	八	二七	二三	二四	二四		四八		四八				二	

536　粟野地区　粟野町収集文書　ア2

年齢	身長 総長	身長 平均	體重 総重	體重 平均	胸圍 総長	胸圍 平均	發育概評 甲	發育概評 乙	發育概評 丙	榮養 甲	榮養 乙	榮養 丙	脊柱 止	脊柱 曲	視力 正視 両眼	視力 正視 一眼	視力 遠視 両眼
十三年	三三・七	四・四四	四五・三五	八・一〇七	一八・九一	二・二八	四	三	三	一〇	一〇		五〇		四八	二	
十四年	一五五・二六	四・八五	四〇・八五〇	九・五四四	九七・三三	二・三七	三	三	八	一〇	一〇		四二		三七	三	
十五年	三八・八〇	四・八五	八四・四四〇	一〇・五六六	一八・六八	二・二六	二	四	二	五	三		八				
年																	
年																	
年																	
年																	

及	視一眼	屈折 近視 両眼	屈折 近視 一眼	狀態 亂視其他 両眼	狀態 亂視其他 一眼	色 異常	神 検査人員	眼疾 トラホーム	眼疾 其ノ他	視力障害アル者	耳疾	齒牙蟲齒アル者	其ノ他病疾	其ノ他異常	監察ヲ要スル者	檢査人員	備考
			二				五〇					二			一四	五〇	
		二	三				四一					二三		一	二	四一	淋巴腺肥大（第二）
							八					一			二	八	

536　粟野地区　粟野町収集文書　ア2

（高等科）　女）　（大正十三年四月檢査）

年齡	十三年	十四年	十五年	年	年	年	年
身長 總長	一五六、三五	一〇二、六四	一四三六				
體重 總重	三四、二四〇	二三五、七〇〇	三一、八〇〇				
胸圍 平均	八、九三	一〇、七四	一〇、八六七				
胸圍 總長	七、八六	五、四二	七、〇四				
發育概評 甲	六	五	一				
發育概評 乙	三	一五	二				
發育概評 丙	六	二					
榮養 甲	二三	一四	二				
榮養 乙	三	八	一				
榮養 丙							
脊柱 正	三五	三	三				
脊柱 曲							
視力 遠視及近視 兩眼 平均	二、二〇	二、九	二、三五				
視力 遠視及近視 一眼							
視力 遠視及近視 兩眼							
視力 遠視及近視 一眼							
屈折狀態 近視 兩眼							
屈折狀態 近視 一眼							
屈折狀態 亂視其他 兩眼							
屈折狀態 亂視其他 一眼							
色神 異常							
色神 檢査人員	三五	三	三				
眼疾 トラホーム							
眼疾 其ノ他							
聽力障害アル者							
耳疾							
齒牙ムシ齒アル者	六	九					
監察ヲ要スル者	六	三					
檢査人員	三五	三	三				
備考							

536　粟野地区　粟野町収集文書　　ア2

（實業補習學校）（男）（大正十三年四月檢査）

年齡	十四年	十五年	十六年	十七年	十八年	二十一年	年
身長 總長	四、九七	四、八七	四、八〇	五、二五	五、三二	五、三三	
身長 平均	四、九七	四、八七	四、三三	五、〇八	五、二二	五、三〇	
體重 總重	二五、〇〇	九七、〇〇	五七、八〇〇	三五、一九	三、三五〇	一五、八〇〇	
體重 平均	一、五七〇	九、七〇〇	一、五八〇	一、七三〇	一、三五〇	一五、八〇	
胸圍 總長	二、五八	二、五八	三、三八	七、六二	二、五七	二、七五	
胸圍 平均	二、五八	二、五八	二、四八	二、四四	二、五七	二、七五	
發育概評 甲	一		二	三		一	
發育概評 乙		一	二	二	一		
發育概評 丙			二	一			
榮養 甲	二		三	二	一	一	
榮養 乙		一	二	一			
榮養 丙							
脊柱 正	一		五	三	一		
脊柱 曲							
脊柱 正兩眼	一	一	五	三	一	一	

（實業補習學校）（女）（大正十三年四月檢査）

視力及屈折狀態 疾 一眼	遠 兩眼	遠 一眼	近 兩眼	近 一眼	其他 及視 一眼	其他 及視 兩眼	色異常	檢査人員	眼疾 トラホーム	眼疾 其他	聽力障害アル者	齒牙蟲齒アル者	監察ヲ要スル者	檢査人員	備考
								一				一		一	
								一						一	
								五					二	五	
								三				一	一	三	
								一						一	
								一						一	

536　粟野地区　粟野町収集文書　　ア2

年齢	身長 総長	長 平均	體重 総重	重 平均	胸囲 総長	胸囲 平均	發育概況 甲	乙	丙	脊柱 彎曲	脊柱 正	栄養 甲	乙	丙	視力 正 両眼	視力 視 一眼	視力 視 両眼
十三年	八一〇	四一〇五	一七・九〇	八・九五	四・六九	二・三五	一	一			二		一		二		
十四年	八・八七	四・四四	一六・九五	八・四七五	四・二三	二・二		二	一		二		二		二		
十五年	天・六五	四・八三	九〇・八六〇	一一・三五七	一九・二三	二・四〇	二	六			八	五	三		八		
十六年	一四一・三五	四・八五	五二・二五〇	三・四五〇	一一・二七	二・二五	一		四	二	五		三		五		
十七年	四・八四	四・八四	一〇・九〇〇	一〇・九〇〇	二・四	二・四〇		一		一	二				一		
年																	

年齢	及視 一眼	屈折狀態 近視 両眼	屈折狀態 近視 一眼	屈折狀態 乱視其他及 両眼	屈折狀態 乱視其他及 一眼	色異 常	神 検査人員	眼疾 トラホーム	眼疾 其ノ他	聽力障害アル者	耳疾	齒牙蟲齒アル者	監察ヲ要スル者	検査人員	備考
十三年							二					一		二	
十四年							二					一		二	
十五年							八					四		八	
十六年							五					五	四	五	
十七年							一							一	
年															

536　粟野地区　粟野町収集文書　ア2

㊀ 税務

府縣税戸數割規則第四條ニ依ル大正十二年度直接國税及直接府縣税ノ税種並大正十三年度納税義務者數調

税目	直接國税 自町村	郡内	縣内	他町村	他郡市	計
地租	四、四六二、四五					四、四六二、四五
營業税	一、三七、四五					一、三七、四五
第三種所得税	七、四六、六七					七、四六、六七
合計	一三、三七、五七					一三、三七、五七

税目	直接府縣税 自町村	郡内	縣内	他町村	他郡市	計
地租附加税	五、六五、一三					五、六五、一三
營業税附加税	八、一九五					八、一九五
第三種所得税附加税	四、六六、一四					四、六六、一四
營業税	九、五〇〇					九、五〇〇
雜種税	五、六六、五五					五、六六、五五
合計	一三、五四、七五					一三、五四、七五

國府縣税額合計金貳万八千四百五拾七圓

納税義務者ノ數 八〇四人

一戸ヲ構フル者 七九六人

獨立生計者 八人

各種縣税營業者調査表（大正十二年度）

種別	人員	税額	備考
物品賣貸業	一二九人	三四六、五〇	一等一人五分 二等七人 三等十六人 四等三六人五分 五等三八人 六等四十人
行商	三一人五分	四五、九五	四等四人 五等八人五分 六等二十人
牛馬賣買業	三人	一五〇〇	三等三人
周旋業			
仲立業			
代理業	四人	一六〇〇	二等四人
仲買業	二三人	一四〇〇	
藝妓屋業	一人五分	九七、五〇	
料理屋	八人五分	七、八五〇	三等七人 其他一人 四等五分
待合茶屋			
飲食店	一七人五分	三〇、五五	三等一人 其他二人 四等十四人五分
湯屋			
理髮人	五人	三、九〇	
計	三七人五分	八七、六〇	

第一表 工業者ノ負担スル縣税調（單位錢）

税目 / 業種別	地租附加税額 人員	地租附加税額 税額	營業税附加税額 人員	營業税附加税額 税額	所得税附加税 人員	所得税附加税 税額	營業税 人員	營業税 税額	雜種税 人員	雜種税 税額	戸數割 人員	戸數割 額
金屬工業		六、〇四	三	一、七		三四、一〇		三六、〇〇	八	二六、一六	九	二六、一六
織維工業		一、九六	一	九、一〇		八、〇〇	二	五、六三	二	五、六三	一	五、六三
紙工業						二、〇〇		四、〇〇		二、八九		二、八九
木、竹類ニ關スル製造業	一	二五〇		三四	四	九八、九〇	一六	一〇一、五五	三	一五七、八六	一六	一五七、八六
飲食料品製造業	六	一四〇、九二	三	一五、七七	六	五五、八六	一六	四五、三〇	二四	一九六、八六	二四	二六一、九五
嗜好品製造業												
被服身ノ廻リ品製造業		四、一六		三、九一		六一、四二		四、〇〇	二三	三〇、六六	二三	三〇、六六

業種別	人員	税額
金錢貸付業	四人五分	二、〇〇
質屋業	一等一人 三等一人五分	二等一人
物品貸付業		
運送業	二人	四、五〇
講員業		三等一人 其他一人
旅人宿業	七人	二六〇
下宿業		四等七人
木賃宿業		